

創刊110周年記念

誇れるふるさと

24地区リレー

〈vol.12〉

〈万倉④ 散策マップ〉

宇部市の北西部に位置し、自然に囲まれる万倉地区。地区コミュニティ推進協議会の矢原久登会長の協力の下、万倉ふれあいセンターを発着点に、約3・5キロのコースを1時間ほどかけて散策した。



のどかな田園地帯に史跡が点在 文化財や領主の墓所、ドライブもおすすめ



ふれあいセンター(①)には赤間硯(すずり)の展示スペースや硯の原石

を使った創作壁画がある。500坪ほど西に向かうと、シイを主体とした照葉樹林に囲まれた宮尾八幡宮(②)＝写真。神仏習合の名残か、境内には薬師堂が建ち、県指定有形文化財の木造薬師如来座像が安置されている。北に進むと、幕末の長州藩で万倉領主を務めた国司信濃親相が主祭神の万倉護国神社(③)が見えてくる。約1キロ先の天龍寺(④)には、国司家歴代の墓所や墓碑が残り、禁門の変で命を落とした万倉の兵士たちの墓

標も立っている。100社号を改めた。前進むと、建っているのは広茅神社(⑤)。以前を眺めながら、通ってきた道は「若一王子社」と称していたが、1869年にへと戻った。

距離はあるものの、ふれあいセンターからのどかな田園地帯を北に進むと、芦河内薬師堂がある。1418年にお堂が再建され、現在では珍しいかやぶき屋根が特徴。1987年には県指定の有形民俗文化財に指定され、2003年に修復された。他にも教善寺のサンカ、今富タムの桜など、見どころは多い。すべてを徒歩で回るのは困難なので、ドライブがてら名所巡りを満喫してほしい。

次回は川上地区。29日スタート。